

第51回 沖縄県保育研究大会 開催要項

～「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざして～

1. 趣 旨

近年、地域や家庭での養育力の低下、子育て家庭の地域からの孤立等による子どもの貧困問題や児童虐待通報件数の増加等、子どもと子育て家庭を取り巻く生活・福祉課題への対応が求められております。

このような状況の中、国が公表した「保育政策の新たな方向性」では、「質の高い保育の確保・充実」「全ての子どもの育ちと子育て家庭の支援」等が推進されるとともに、本県においても、「沖縄県こども・若者計画」を策定されるなど、保育所・認定こども園等は大きな転換期を迎えています。

私たち保育関係者は、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、保育の社会的な意義・役割を再確認し、これまで培ってきた保育の営みの大切さを広く社会に発信していく必要があります。

これまでも沖縄県保育協議会および沖縄県保育士・保育教諭会の研究大会はそれぞれに実績を積み重ねてきましたが、研究大会の質をさらに高めることはもとより、保育の質や実践の向上を図ることを目的に大会を一本化し開催いたします。

2. 主 催 社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会、沖縄県保育協議会

3. 後 援 沖縄県、各市町村

4. 協 賛 琉球新報社、NHK沖縄放送局、琉球放送、沖縄テレビ放送、エフエム沖縄

5. 日 時 令和8年2月7日(土) 12:00～17:00 (11:30～受付)

6. 会 場 沖縄県総合福祉センター 東棟1階 ゆいほーる

7. 日 程 11:30 12:00 12:30 14:10 14:25 17:00 17:10

| | | | | | |
|----|--------------|-----------------|------------|-----------------|----|
| 受付 | 式典・ 宣言文採択 | 記念講演 ※質疑応答含む | 休憩 舞台転換 | 分科会 ※発表・助言のみ | 閉会 |
|----|--------------|-----------------|------------|-----------------|----|

8. 参加対象 沖縄県内の保育関係者（保護者含む）

参加方法 ①会場での大会参加（参集型）

※先着250名までとし、定員に達し次第受付終了となります。

②ライブ配信での大会参加

※当日のライブ配信に係るURL等は後日お送りいたします。

③動画視聴での大会参加（録画配信）

※録画配信の視聴については、後日動画URLをお送りいたします。なお、記念講演のみ視聴可能とし、視聴期間は追ってご連絡いたします。

9. 参加費

(1) 会場での大会参加者（1人あたり）

| | 公立(公設民営を含む)・行政職員 | | 法人立 |
|-----|--------------------|-------------------|-------------------|
| | 市立・市行政 | 町村立、町村行政 | |
| 会 員 | 5,940円(内消費税額540円) | 5,280円(内消費税額480円) | 3,300円(内消費税額300円) |
| 非会員 | 6,600円(内、消費税額600円) | | |

(2) ライブ配信での大会参加者 (1人あたり)

| | |
|-----|----------------------|
| | 法人立、公立(公設民営を含む)・行政職員 |
| 会員 | 3,300円(内消費税額300円) |
| 非会員 | 6,600円(内消費税額600円) |

(3) 動画視聴での大会参加者 (1施設あたり) ※記念講演のみ視聴可能

| | |
|-----|----------------------|
| | 法人立、公立(公設民営を含む)・行政職員 |
| 会員 | 3,300円(内消費税額300円) |
| 非会員 | 6,600円(内消費税額600円) |

○ ご希望の方には「適格簡易請求書」を発行しますので、事務局までお声かけください。

※非会員とは、令和7年度沖縄県保育協議会職員名簿並びに沖縄県保育士・保育教諭会会員名簿の提出の際に、お名前のない方及び施設をいいます。

10. 記念講演「保育に活かす子どもの権利条約 ～アタッチメント理論の視点から～」

講師：木附 千晶 氏 (子どもの権利条約(CRC)日本代表/ケフィック池袋カウンセリングルーム代表)

虐待を受けた子どもや施設や里親で暮らす子ども、生活困難家庭や社会から排除された人たちなどを取材していくなか、子どもの成長発達や人格形成、家庭・家族が持つ役割などに興味を持ち、アライアント国際大学・カリフォルニア臨床心理大学院修士課程入学。

東京港区にあったIFF・CIAP相談室((株)アイエフエフ)にて、引きこもりやDV、虐待などの家族問題、家族・カップル・親子の関係調整や再統合、依存症、アダルトチルドレンなどを対象とする臨床経験を積む。

子どもが成長・発達する基礎となる、思いや願いを受け止めてくれるおとなとの関係をつくることを重要視した愛着理論をベースとする「子どもの権利条約」に関する講演・執筆や、家族や伴侶動物の看取り・喪失にともなうグリーフワークにも取り組まれている。

11. 分科会 ※第1分科会終了後にテーマ別分科会が実施されます。

14:25 15:35 15:50 17:00 17:10

| | | | | |
|-------|-------|--------------|---------|----|
| ゆいほーる | 第1分科会 | 休憩 (入れ替え) | テーマ別分科会 | 閉会 |
|-------|-------|--------------|---------|----|

| | | |
|-------|--|------------------------|
| 第1分科会 | 子どもの育ちを保障する関係機関とのネットワーク ～保幼小、虐待対応、療育、地域等における連携～ | |
| | <p>子どものより良い育ちにおけ、保育所・認定こども園等と小学校、さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえる視点として重要です。</p> <p>令和5年2月には、文部科学省初等中等教育分科会のもとで「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について～保幼小の協働による架け橋期の教育の充実～」が取りまとめられました。取りまとめにおいては、5歳児から小学校1年生までの2年間を「架け橋期」として、保幼小の関係者はもとより、家庭、地域、関係団体、地方自治体など、子どもに関わるすべての関係者が立場を超えて連携・協働することが必要とされています。</p> <p>また、子ども・子育て制度では各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画」に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実化においては、社会福祉法人をはじめとする保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築もいっそう大切となります。</p> <p>児童虐待予防、子どもの貧困に起因する課題への対応、病児・病後児保育、医療的ケア児の支援、さらには災害対応など、保育所・認定こども園等単体のみならず、地域の関係各機関と連携・協働をもってすすめるべき取り組みは多くあります。</p> <p>本テーマでは、子どものより良い育ちにおけた、多様な機関との連携・協働の進め方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて研究を深めます。</p> | |
| | 助言者 | 沖縄キリスト教短期大学 教授 大城 りえ 氏 |
| 発表者 | 認定こども園金のほし 「子ども一人ひとりの特性を大切にした保育」 わらべ保育園 「子どもの育ちを保障する関係機関とのネットワーク ～療育を通し、保育士の資質向上を目指して～」 | |

| | |
|---|--|
| テーマ別分科会 | テーマ/発表者 |
| | 組織力・チーム力向上のためのマネジメント ～施設内の環境づくり、人材確保と育成・定着、施設長（管理者）の資質・変革等～ |
| | 【発表者】めだか保育園 「職員集団作り ～職員集団の高まりが一人一人の保育の質を高める～」 |
| | 子育て支援・多機能化 ～地域と連携した子育て、地域のニーズに応える施設づくり～ |
| | 【発表者】やまびこ保育園 「目の前の人を大切にする子育て支援とは？ヤッホーハウス 17年間の実践をひもとく」 |
| | すべての子どもの育ちを支える保育の質の向上、家庭支援 ～保育のブラッシュアップ・充実した家庭支援、食に関する支援を考える～ |
| | 【発表者】心愛こども園 「3～5歳児 60名1クラスで異年齢保育やってみた」 |
| 公立保育所・公立認定こども園等の特性を生かした使命と 地域社会での役割と発信 | |
| 【発表者】宮古島市東保育所 「地域とともにある保育所を目指して ～地域交流から公立保育所のあり方を考える～」 | |

12. 申込方法

(1) 本会ホームページからお申込みください。

「受講申込入力フォーム」へアクセスし、必要事項を入力の上、令和8年1月9日（金）17時までに送信してください。

<https://www.okishakyo.or.jp/workshop/>

※最終ページで「自分にも送信内容のメールを送る。」に必ず✓マークを入れてください。受付完了後、確認メールが登録されたメールアドレスに自動送信されます。（確認メールが届かない場合はお問い合わせください）。

(2) 当日の欠席については、参加費は返金いたしかねます。

(3) 動画視聴期間外に視聴することはできません。またその際の参加費は返金いたしかねます。

(4) 大会役員、発表者(各園1名のみ)、係員は参加費が免除となります。申込用紙の備考に「役員」または「発表」「係員」と御記載ください。

(5) お申し込みと合わせて下記本会指定口座へ参加費をお振込みください。

(6) 振込手数料は申込者にて御負担ください。

(7) 申込後のキャンセルについては返金いたしません。

(8) 参加費の現金納付は受け付けいたしません。

金融機関：琉球銀行 石嶺支店 普通預金

口座番号：315911

口座名義：社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 会長 湧川昌秀

フリガナ：フク、オキナワケンシャカイフクシキョウギカイ

※お振込みの際は、法人名ではなく●●保育園として御入金ください。

13. 申込締切

令和8年1月9日（金）17時まで

14. 個人情報のお取り扱い

参加申込書に記載されております個人情報は、本大会の運営管理の目的にのみ使用し、他の目的に使用することはありません。

15. 申込先及びお問合せ先

沖縄県保育協議会・事務局（担当：大城、照屋）

社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 施設団体福祉部

〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1（西棟4階）

TEL：098-887-2000 FAX：098-887-2024

E-mail：hokyo@okishakyo.or.jp

